

慶應義塾に関連した出版物や教職員の最新著書などを中心に、本に関する情報をお届けします。

## 機能と美しさを追求した 義足プロジェクトの軌跡

『カーボン・アスリート』

美しい義足に描く夢

山中俊治（政策・メディア研究科教授）著  
白水社／定価1680円



下肢の一部を失ったアスリートの骨格となつてパフォーマンスを支える競技用義足。肉体と一体化し躍動するその機能美は、日本有数のプロダクトデザイナーである著者を魅了し、「美しいスポーツ義足」のデザイン開発へとつき動かした。

デザイン自体が浸透していなかった義肢装具業界を奔走する著者や、ロンドンパラリンピックに出場した競走部の高桑早生選手（総合政策学部2年）らと密にコミュニケーションを重ね、試行錯誤を繰り返す学生たち。時には挫折も味わいながらも夢を着々と形にしていく人々の軌跡は、「デザインする意味」をあらためて考えさせてくれるだろう。

## 教職員執筆の最新刊

●島田晴雄（名誉教授）著

『盛衰―日本経済再生の要件』東洋経済新報社／1890円（2012年7月）

●安藤寿康（文学部教授）著

『遺伝子の不都合な真実―すべての能力は遺伝である』ちくま新書／819円（2012年7月）

●浅見雅一（文学部教授）ほか著

『韓国とキリスト教―いかにして“国家的宗教”になりえたか』中公新書／819円（2012年7月）

●佐藤望（商学部教授）編著、湯川武（名誉教授）、横山千晶（法学部教授）、近藤明彦（体育研究所教授）著

『アカデミック・スキルズ（第2版）―大学生のための知的技法入門』慶應義塾大学出版会／1050円（2012年9月）

●土屋大洋（政策・メディア研究科教授）著

『サイバー・テロ 日米vs.中国』文春新書／809円（2012年9月）

●井口樹生（元・文学部教授）著、藤原茂樹（文学部教授）編著

『新編 池田彌三郎の学問とその後』慶應義塾大学出版会／2730円（2012年10月）

## 慶應義塾の1冊

『福澤諭吉歴史散歩』

加藤三明（幼稚舎長）、山内慶太（看護医療学部教授）、大澤輝嘉（中等部教諭）著  
慶應義塾大学出版会／定価2625円



大阪で誕生し、中津で幼少期から青年期までを過ごし、長崎、大阪で蘭学を修め、江戸に渡って慶應義塾を開いた福澤先生。義塾発行の『三田評論』に連載中の「慶應義塾史跡めぐり」より、福澤先生に関連する回を抜き出して編集された本書は、国内にある先生ゆかりの地や先生が実際に訪れたアメリカとヨーロッパの都市を、先生の軌跡をたどりながら紹介する歴史書である。文中に登場するスポットを実際に見て回れるよう、マップも随所に掲載。読み物として楽しむことができ、史跡巡りのガイドブックとしても活用できる一冊だ。